

部局名	都市整備部	所属名	土木管理課	所属長名	御園生 悟	電 話	483-1151 内線3610
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	4006		事務事業名称	法定外公共物（赤道・水路等）管理事業						短縮コード	経常	4006	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	02	道路橋梁費	目	01	道路橋梁総務費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		・建設省所管公共財産管理事務手引 ・八千代市法定外公共物管理条例 ・八千代市法定外公共物管理条例施行規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
地方分権一括法が成立し，法定外公共物（赤道・水路）の機能管理及び財産管理とも市町村の自治事務となった。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		6本の柱（章）	05	第5章快適生活都市をめざして						
・機能管理、財産管理が市の自治事務になったことで、地域住民並びに自治会からの維持管理等の要望に迅速かつ正確な対応ができる。						大項目（節）	01	第1節総合交通						
						中 項 目	02	2. 道路						
						小 項 目	03	(3)一般市道の整備						
						細 項 目	01	①市道の管理						
実施計画の計画事業														
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	里道・水路等の法定外公共物							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： ・法定外公共物占用許可申請の受領及び，許可書の発行 ・法定外公共物工事施行承認 ・用途廃止，付け替え							
	※平成24年度に計画していること： 平成23年度と同じ。							
意図 （何を狙っているのか）	法定外公共物の機能管理、財産管理。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	22年度	23年度		24年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	法定外公共物占用許可申請数	件	55	55	120	120	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	法定外公共物占用許可数	件	55	55	79	79	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	占用申請の許可実績	%	100	100	65	65	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		4006	事務事業名称	法定外公共物（赤道・水路等）管理事業			所属名	土木管理課
			単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円					
		一般財源	千円	507	282	253	217	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			消耗品費	消耗品費	消耗品費	消耗品費	
人件費 (B)			千円	18, 083. 4	17, 774. 3	17, 782. 7	17, 782. 7	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	18, 590. 4	18, 056. 3	18, 035. 7	17, 999. 7	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		第4次総合計画の体系「一般市道の整備」の市道の管理に結び付いている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		今後も法定外公共物（赤道・水路等）の管理業務を続けていく必要があるため。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		国有財産（赤道・水路等）の譲与物件であるため。				
☒ 可能性はない									
☐ 評価対象外事項									
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		現状の「対象」・「意図」で成果に結びつくことができる。					
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある						
			☒ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等		法定外公共物管理システムを導入しているが，場所の確認が主なシステムであり，利用範囲が狭いため，今後は査定記録を取り込むなど利用範囲を拡大する。					
		☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用							
		☒ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し							
		☐ 受益者負担の見直し							
		☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）		
		☐ 上記以外の方法			2		実施主体 （所管部署）		
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		システム拡張には一時的に経費増になる。				
			☐ ない						

コード	4006	事務事業名称	法定外公共物（赤道・水路等）管理事業				所属名	土木管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			電子化推進への改善と測量等未整備部分の解消に向けた取り組みを図る。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			電子化に伴う事業費の増加が見込まれる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
事務手続きを市行政で行うこととなり、事務の簡素化が図られた事で市民サービスが向上された。	

所属長コメント	測量等未整備部分の解消に向けた取り組みを検討すると共に、効率的業務を行う上でより、一層電子化を図る。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	現状のまま継続とするが、システムの拡張については、今後も検討を行っていくこと。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☒ 現状のまま継続		